

# 薔薇ホテル

HOTEL ROSE

いたずらな女つて嫌いですか?!



広田玲央名

田中 健

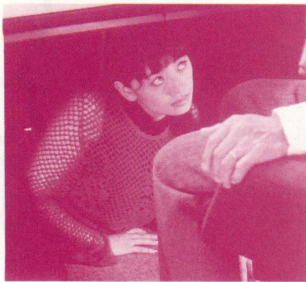
春田純一  
星 遙子  
鈴木瑞穂(特別出演)  
平泉 成

阿部 寛

原作・脚本●つかこうへい  
監督●斎藤耕一  
撮影●森 隆吉(J.S.C.)  
照明●仲澤廣幸  
美術●都築雄二

企画・協賛●明治生命保険相互会社  
製作●第一企画株式会社  
株式会社エッセン・コミュニケーションズ

協力●北区つかこうへい劇団 ©1995 DAI-ICHI KIKAKU 配給●株式会社ゼアリス



薔薇の花言葉は愛。  
この物語は、  
赤い薔薇に相応しい恋心そのままに、  
生き、恋し、踊り続けた  
ある女性のラブストーリーです。

つかこうへい



映像派の巨匠、斎藤耕一監督が贈る珠玉のラブ・ファンタジー

# 薔薇ホテル

HOTEL ROSE

「わがままばかり言って、楽しかった」

♥あなたには、どうしてもやりたいことがありますか？  
「薔薇ホテル」のヒロイン美知代の場合は、ダンスを踊ること。最高のステージで踊り、喜び、悲しみ、愛、官能……人生のすべてを一つのダンスに凝縮して、燃焼しつくすこと。そのために美知代は生きている。毎日のOL生活も、いくつかの破綻した愛も、新しい恋も、ダンス抜きには語れない。

♥新しい恋。美知代の夢を、愛の力だけでなく、お金という現実の力も注いで、育ててくれようとする会社の上司。不倫だって構わない。そんないい男には、何でもあげる。思いきり、わがまま言って困らせてあげる。彼だって、美知代に振り回されて結構シアワセそう。女って、わがままで、いたずらで、一生懸命、だから可愛い生き物なんじゃない？  
奔放に、思うままに生きる美知代。あなたは、そんな彼女を支持しますか？

♥自由奔放、正体不明の魅力にあふれるヒロ

『女の宣戦布告です!』

イン美知代を演じるのは「エンドレス・ワルツ」の鈴木いずみ役で若い女性の共感を呼んだ広田玲央名。周りから「本人そのもの」と絶賛(?)された勝手気ままぶりは新鮮で快感。

♥本作ではダンスシーンも必見。彼女は、モーリス・ベジャール主宰ベルギー国立芸術学校に日本人として初めて入学し、在籍中に各国で公演した経歴の持ち主。そのダンスは官能美にあふれ、エキサイティングだ。

♥本作品は直木賞作家であり演劇人としても数々

の受賞歴を誇るつかこうへいの書き下ろしオリジナル脚本(小説「薔薇ホテル」、角川書店より発売予定)。「蒲田行進曲」「幕末純情伝」などに続く傑作の呼び声も高い。

監督の斎藤耕一は「旅の重さ」「津軽じょんがら節」などの名匠で、1993年には「望郷」で日本映画批評家大賞最優秀監督賞を受賞、日本映画界を代表する監督の一人。

美知代に翻弄されるエリート商社マン、伊達には「望郷」でも斎藤監督と組んだ田中健。物語の舞台となる薔薇ホテルの支配人、重宗には、「人でなしの恋」などでますます好調の阿部寛。その美貌が、物語に妖しい色気を醸しだしている。

「あなたのお金が続く限り、  
いつでも一緒に死んであげる。」

〈物語〉

東京の商社に勤めるOL、美知代(広田玲央名)。彼女の夢は一流のダンサーになって、最高のステージで踊ること。夢の実現のためには、頼りになる男とお金がいる。そんな美知代の標的に選ばれたのが、上司の伊達(田中健)。度肝を抜く美知代のアプローチにたじたじだった伊達も、いつしか彼女のいじらしさにほだされ、次第に愛の罠にはまっていく。そんな二人を、美知代の同居中の愛人、吉岡(春田純一)が嫉妬に狂って付け回す。さらには刑事(平泉成)の追手が忍びよる。実はかつて美知代の夫だった二人の男が、謎の死を遂げていたのだ。そんなある日、美知代と伊達は薔薇の花が咲き乱れる不思議なホテルを訪れる。待っていたのは、美貌の支配人(阿部寛)だった。

STAFF

原作・脚本……………つかこうへい  
監督……………斎藤耕一  
プロデューサー……………元木博一  
……………松井久子  
……………寄田勝也  
撮影……………森隆吉  
照明……………仲澤廣幸  
美術……………都築雄二  
録音……………芦原邦雄  
記録……………堀ヨシ子  
編集……………菅野善雄  
助監督……………塩田芳享  
製作担当……………菅原日出男  
プロデューサー補……………柳川美穂

CAST  
美知代……………広田玲央名  
伊達……………田中健  
薔薇ホテル支配人・重宗……………阿部寛  
吉岡……………春田純一  
陽子……………星遙子  
陽子の父……………鈴木瑞穂(特別出演)  
刑事……………平泉成

1995年/カラー/ビスタサイズ/97分

企画・協賛：明治生命保険相互会社/製作：第一企画株式会社  
(株) エッセン・コミュニケーションズ ©1995 DAI-ICHI KIKAKU

5月11日(土)よりロードショー!!

●特別鑑賞券 ¥1,400/学生前売鑑賞券 ¥1,200 絶賛発売中! (当日一般 ¥1,700 学生 ¥1,400 の処)

ホワイティ泉の広場上がる 東へ5分

扇町ミュージアムスクエア

06  
(36)  
0088

連日 12:20 2:20 4:20 6:20